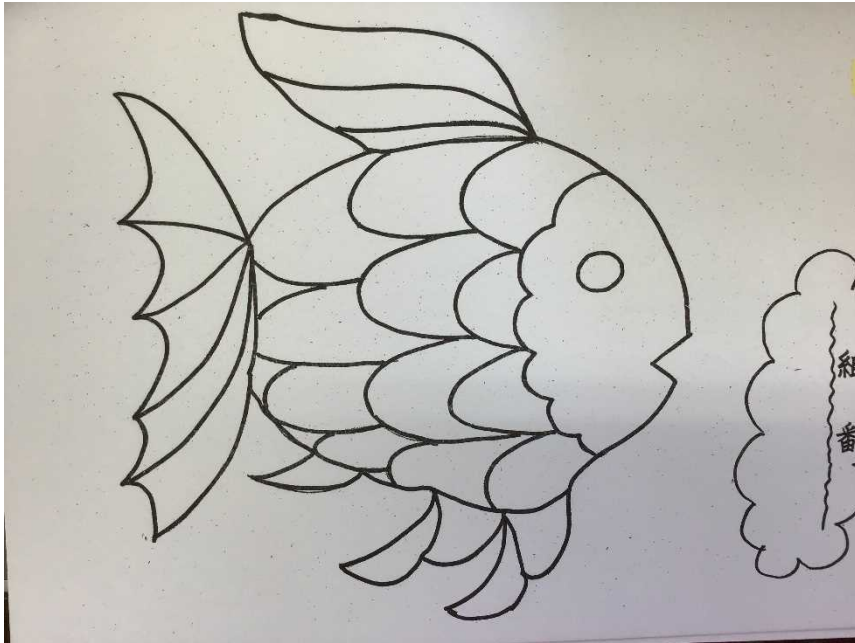


図工「見つけたよ、この色 すてきだね、その色」

先生たちも自分だけの色を作り、魚に色をぬりました。かくときの参考にしてみてくださいね。

「赤色なかまの魚」をかいていきます。



パレットに、赤、白、黒の3色の絵の具を出しました。色の種類が少なくても、絵の具の混ぜ方や水の量を工夫すれば、すてきな作品に仕上がりますよ。

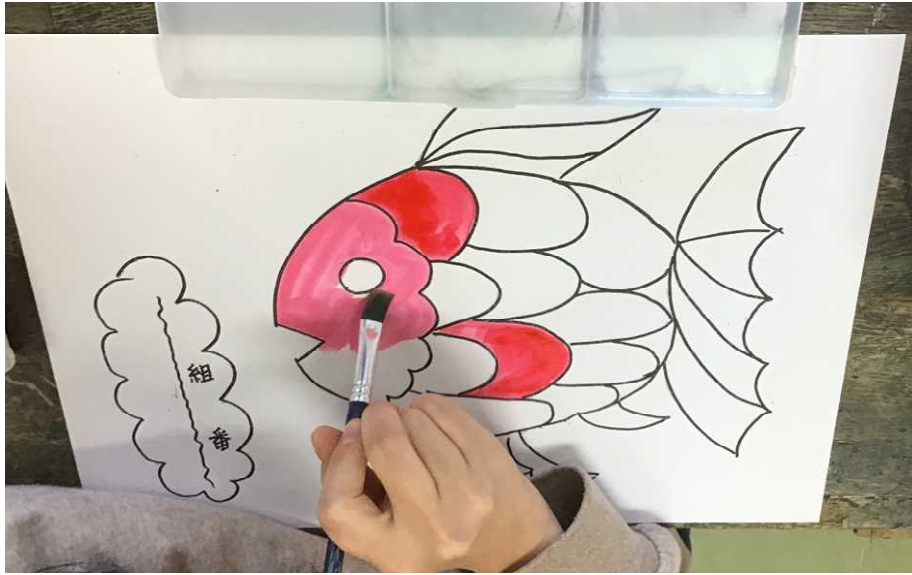


まずは赤色だけでぬってみます。水の量をふやしたりへらしたりすると、色のこさが変化します。



白と赤をまぜました。最初は白を少なめに。





少しずつ白をふやしました。



黒も少しずつまぜてぬっていきます。最初は黒をほんの少しだけまぜました。
黒を使うときは、しんちょうに少しずつ入れないと、真っ黒になってしまうので要注意！

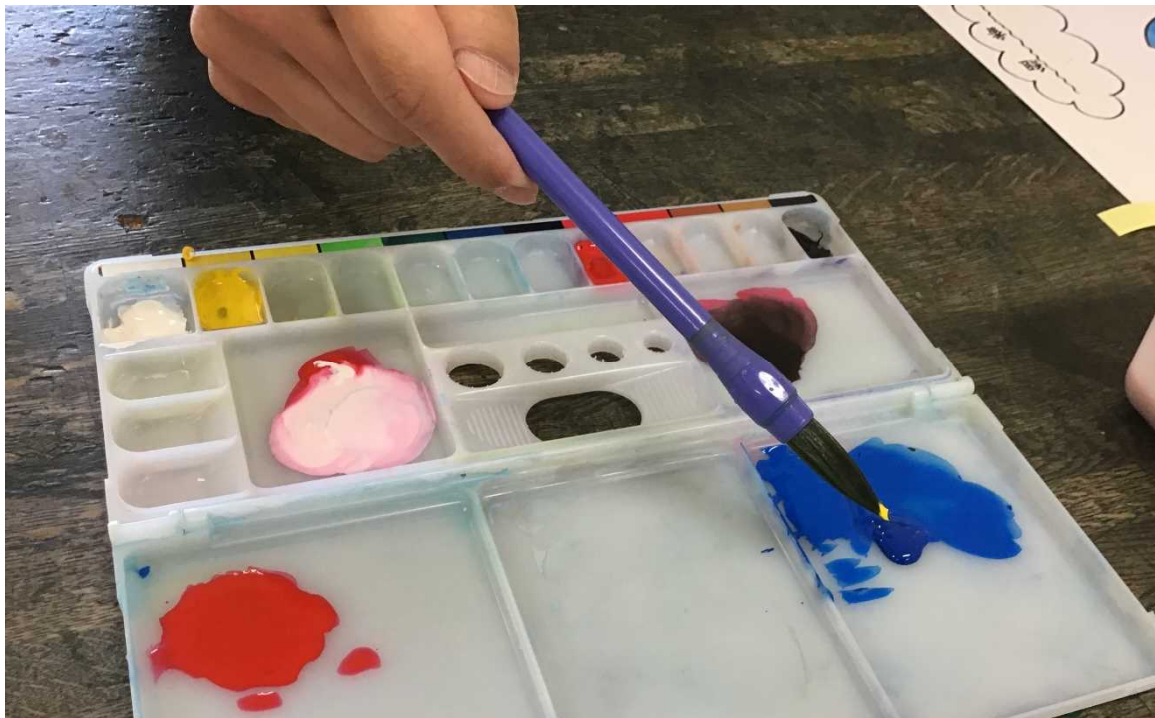
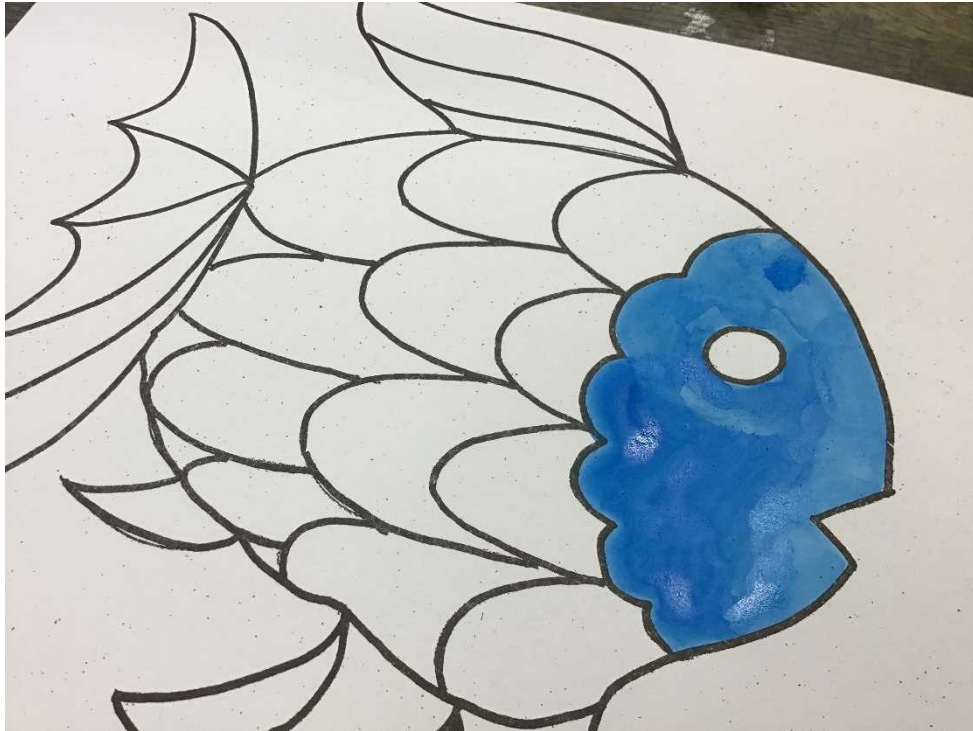


黒の絵の具を少しずつふやしていきました。
黒と赤の絵の具だけで、何種類かの色をつくることができました。



「青色なかまの魚」もかいていきます。青・黄・赤の3色を使いました。絵の具のまぜ方や水の量を工夫してみましよう。

最初は青だけでぬりました。水の量をふやしてみたり，黄色をほんの少しずつまぜてみたりしました。色のこさにちがいがあって，おもしろいですね。



赤も少しずつまぜてぬっていきます。



目をかいて、このように仕上げました。基本となる赤，青，緑，以外の色を，先生が使った色と変えてみてもおもしろいですよ。赤と黄，青としゅ色，緑とおうど色などなど…。横のワカメも好きな色をぬりましょう。みなさんも，すてきなうろこの魚をかいてみてくださいね。

